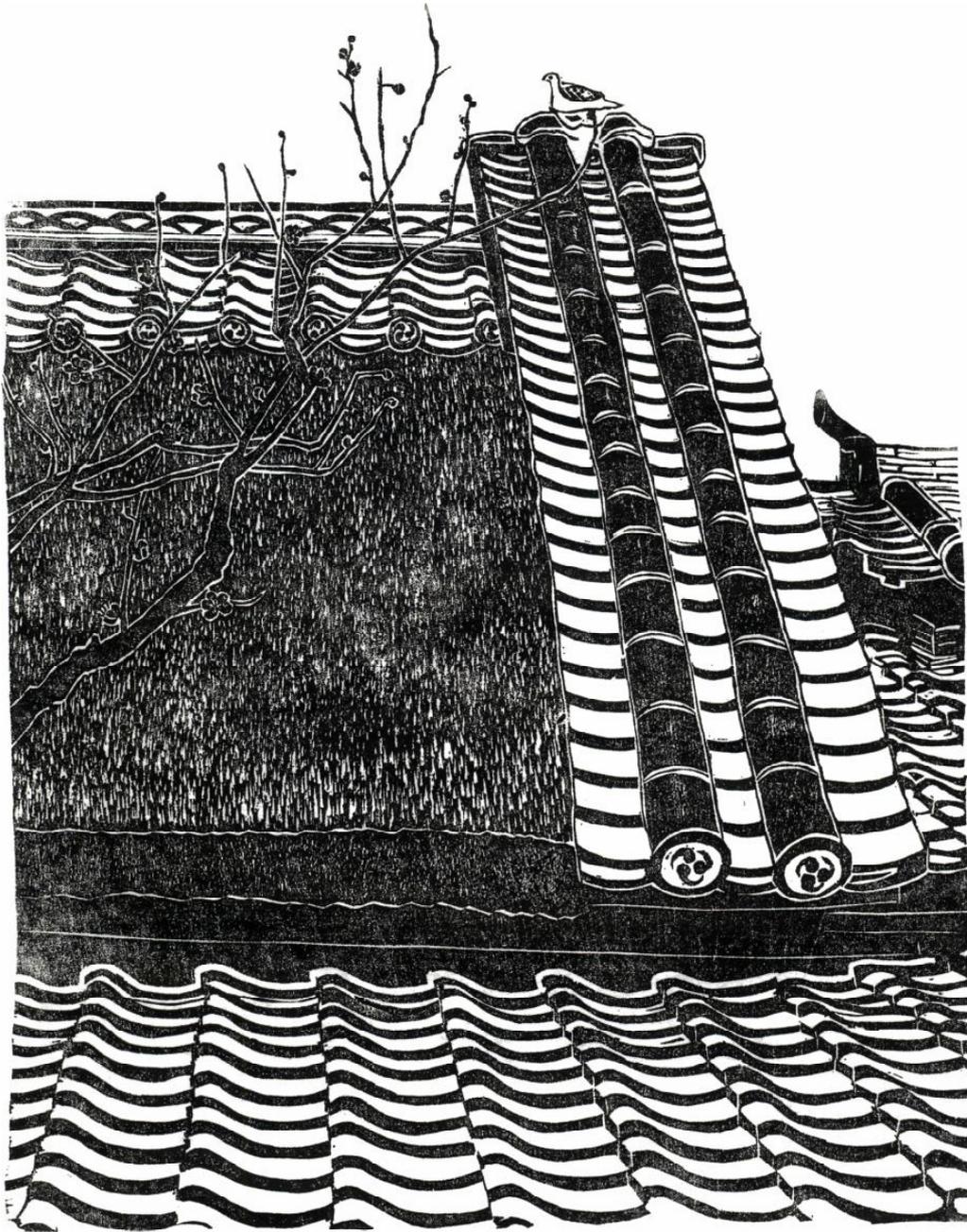


発行所  
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)

電話 66-1311  
FAX 66-1314

# かさおか



三味田  
教祖の生家

## おつとめ奉仕者の増員

- ・一人ひとりが日々に真実を尽す
- ・布教によるおつとめ奉仕者の増加
- ・後継者講習会への参加による奉仕者の増加
- ・おぢばへの伏せ込みひのきしん

立教171年  
8月号

大教会に於て六月二十一、二十二日の両日にわたって、布教所長夫妻研修会が開催された。

一昨年の反省会席上「初日の夕食を有効活用できないか」の発言から、大教会長様の親心と特別のお計らいで、日頃のたすけ一条の慰労も兼ねて会食(豪華メニュー)を頂きながら、布教所長同志の親睦を深めさせて頂いている。ちなみに教会長講習会では缶ビール一本と小袋のつまみだけの極めてささやかな夜食であることをさみても、布教所長方々への大教会長様の御期待の程が伺える。

これ程御期待下される布教所長研修会であるのに参加者が毎年ほぼ同数で推移しており頭打ちの感じさえする。布教所長の高齢化をはじめとし、仕事の都合、

# 布教所長夫妻成人研修会に思う …次回の一層の参加を期して

身上等々不参加の理由はいろく挙げられるであろうが、笠岡一八六ヶ所の布教所の内、参加が三十ヶ所、数字で見れば参加が十六パーセントで不参加が八十四パーセントとなる。

どう思案しても妥当な数とは思えない。半分とまではいかないまでもせめて三分の一、六十ヶ所位の参加があつて然るべきではないのか。

日程のやり繰り、会場の設定、役割、プログラム、講師の選定に当っては布教の第一線で実をもつてお通りになつての方々を、あの人この人を選び選んで毎回招聘しょうへいされる。まして大教会は相当の予算をお組みになっている。実に勿体ない限りの研修会ではないか。「参加しない」と「参加出来ない」とでは大きく異なる。

意欲が無いのか、求道心が失せたのか我家に在ってこれだけ中味ある一日

を過ごすことは滅多そうあるものでない、時間を数にすれば僅か一日のこと、我身思案を捨てて大教会の思いに飛び込む勇氣、信仰が必要だと思ふ。

更には、教会長にとっては布教所長は片腕であり、理の相談ができる大切な女房役でもある。この女房殿の成人の妨たげがあつてはならない。

教会長様方々の熱き思いをもって一層の参加を促して頂き度い。

(布教部員 三代 温生)



親心いっぱいにお話しされる大教会長様

## 布教所長夫妻成人研修会

大江橋分教会

高田原布教所 三宅 友子

この度、布教所長講習会に親子で参加させて頂く事が出来ました事を親神様・教祖に深く感謝させて頂いています。色んな人の体験や努力を聞かせて頂きました。同じ部屋の人達の話も色々聞か



襟を正して聞き入る受講者の方々

せて頂き、私は大変な人生だったと思っていましたが、私以上に大変苦労された人達ばかりだったので少し心に元気が出た気がします。反省はもちろんです。理の親のお陰で、天理高校二部を42年に卒業46年に理の親のお世話で結婚しました。32才の時、明日から自動車学校に教会の奥さんと二人で行く事が決まっていたのですが、アルバイトの帰り交通事故に合い車にすくい上げられて田におち救急車で病院に運ばれていました。

意識不明20日位で気が付くとベットのの上でした。見舞に来て下さった人達とは普通に話しをしたらしく、私はまったく覚えていません。主人をおじさんと呼んでいたそうです。教会の奥さん、若奥さんがおさづけをして下さり、二ヶ月たって県病院に検査に行った時、紙一重で植物人間になるところでしたよと言われた時は、びっくりしました。自分は大変な事故に合い大きな御守護を頂いたんだと深く感謝しました。まったく痛みがなくな不思議な思いがしました。又、主人にもいろいろ身上を見せられました。うつ病や6000ボルトの高圧電気が体を通化したり、ヘルニア等の身上でした。職場でのけがもたびたびありました。久松分教会の進めで、ご守護を頂くために布教所の決意をいたしました。私は、修養科に入りたいと思っていましたが見送っていました。前から60才に成ったら修養科に入りたいと思っていました。働

いていたのですぐには止められない、色々な事情が出来ましたがそれらがおさまり平成7年12月冬、修養科に入らせて頂いたのも御守護ではないかと思えました。入らせて頂いてもっと早く入学していれば良かったとつくづく思いました。教会からも心配をされてしまったので、月次祭やひのきしんをすること等自分の都合のつくかぎりは教会へ行かせてもらっていました。今迄いんねんの自覚にとぼしかった事に気が付き深く反省をしています。修養科中、先生方、同期生の方のすばらしい話を聞かせて頂いた事、同じ教室の中で足が痛い、耳が聞こえにくい、頭が痛い人達に今しかない、思いきっておさづけをとり次

がせて頂いたり基礎講座に行く人8名おさそいしで行った事など昨日のように思われます。今は、半日会社に行っています。これからもなるべく大教会に寄せて頂いて勉強して行きたいと思っています。布教所長講習会で又、会える事がありましたら頑張っている話を少しでも出来たら良いと思っていますので宜しくお願い致します。



縦の伝道講習会 開催

少年会笠岡団では、6月21日に少年会本部委員・木村洋行先生をお迎えして「縦の伝道講習会」を開催しました。先生は、祭典講話として自らの体験を通して、子育ての難しさと共に信仰の伝承の大切さを分かりやすく、ソフトな感じでお話してくださいました。

また、最近の「こどもおぢばがえり」の傾向として、だんだんと小グループになってきている。それに伴い、育成会員が割合として増えてきているが、これは、家族そろっての参加が増えてきている証拠です。とお話しくだされました。子供達が一年の内で一番心身ともに成長する夏。笠岡団では、全教会からの帰参を心定めさせて頂いております。

育成にあたる私たち大人が、おぢばがえりの喜びをもって、仕込みのポイントを念頭において、三つの約束を実行する姿を子供達に写し、勇んで道の後継

第13回

キャンプ

たすけあいと創造・さんさいの里。



少年会笠岡団

- と き 8月21日(木)～23日(土) 2泊3日。  
21日午後1時大教会集合。
- と ころ 奈良市・さんさいの里キャンプ場
- 内 容 キャンプファイヤー、ハイキング、クラフト他。
- 持 参 品 参加お供3、000円、米3合、野菜1つ、着替え、洗面具、ぼうし、長そでシャツ、ズボン、運動ぐつ、リュック。
- 申 込 み 8月18日までに大教会(0865-66-1311)又は、教会まで申し込んで下さい。

※育成者のみなさんへ

さんさいの里は、おぢばの近くにある安全なキャンプ場です。夏休みに大自然の中で生きている喜びをこどもたちに体験させてあげてください。この夏お勧めの企画。

者育成の御用をつとめさせていただきましよう。また、午後から石前みち先生の指導で実技勉強会を開き、おとまり会やこどもおぢばがえりでのゲーム・ソングを楽しく勉強しました。その中で先生は、子供たちに接するやさしさやいっくしみ

の心を大切にすることがポイントですとお話しく  
ださいました。

夏やすみの間に少人数でもぜひ教会でおとまり  
会をさせていただきましよう。

(少年会団長 中島 誠 治)

# 初めてのソフトバレーボール大会

笠岡の道に繋がる者達のブロックを越えた親善スポーツ大会は今年で4回目を迎える。第1回目より準備されながら1度も使われなかった用具が今年初めて目の見ることになった。大会当日6月22日の前日から降っていた雨で、ソフトボールが中止になり、予約していた井原市にある体育館でソフトバレーのボールに初めて空気が入れられ使用されたのである。初めての体育館行事で、準備に戸惑ったものの、早くから集まった人達でネット張り、物品運搬と手際よく治められ開会式を迎えられた。大教会長様の「雨も御守護です。ソフトバレーボールをしっかり楽しみましょう」との挨拶を頂き、競技は開催された。

大会は和気あいあいと進んでいったが、ソフトボールに比べ動きが激しいからか、息切れをする人も少なからず、怪我をする人も出たので、準備運動をしっかりするなど、来年に向けての課題を沢山頂いた。

さて、今年も昼食はおにぎり、パンの他に森本重吉さんの好意でうどんが全員に振る舞われた。毎年おいしいと好評で、スポーツが苦手な方でも来年から会場に

来て味わって頂きたい。

ちなみに大会優勝は直轄Ⅱ、準優勝は直轄ⅠC、3位は福山、4位は久松という結果でした。

来年も晴れるか雨になるか分かりませんが、全て神様の親心として進めて行きたいと思えます。今年大会が進められるに当たり、準備、運営、救護、昼食、審判など、多くの尽力によって遂行出来たことをこの紙面を借りて御礼申し上げます。ありがとうございます。

(親善大会運営委員会 上原 志郎)



ご挨拶される大教会長様も一参加者でした

## ソフトバレーボールに参加して

東悠分教会長 田林 久嗣

いつもの大教会祭典は、午後から各部会の会議が終わると徐々に静けさを取り戻していくが、その日はまだ人も多く熱気が感じられた。それもその筈、夕刻から布教所長講習会が開催される。布教部員として準備をさせて頂き一段落したところで、大先輩の谷内先生から「ちょっとやるぞ」と声が掛かった。待ってました、と青年さん二人と共にグローブとバットを用意し、早速庭でキャッチボールとトスバッティングを始めた。とても？歳とは思えない谷内先生の軽快な動きに感心しつつ、自身もまだまだいけると再確認し、去年がブロックでなかった事を証明できると準備万端の筈だったのだが・・・。

翌日は大雨のご守護を頂き、ソフトとボールの間にバレーが付いた競技になってしまった。体育の時間にバレーボールをしたことはあるが、果たしてどうなるかとブルツケ本番試合開始。名前のとおりソフトなボールに翻弄されつつも、何とかプレーしたのだが、予想以上に激しい運動量と体育館の暑さに早々に体力の限界を感じる始末。さらに直1大教会長メンバーのチームにもかかわらず、相手チームの容赦ない攻撃(KY ちゃうか)

に健闘するも連戦連敗。どっと疲れが出たのでした。これはソフトボールよりキツイと感じた後、森本さん特製の美味しいうどんを頂き、久々に流した爽快な汗と皆で頑張った一体感で、何ともいえない充実した気分浸ったのは皆も同じだったのではないのでしょうか。更におまけは、翌日の全身筋肉痛(まだ若い！)

そもそも、この大会は「大教会長杯親睦ソフトボール大会」と銘打っている大教会の公式行事。



おお〜っ！ いいショットだが、誰だか判らない...

日頃様々な分野で頑張っている笠岡大教会に繋がる人が、持場立場を越え皆で顔を合わせ、老若男女がボールを追いかけ和気藹々と親睦を図る。そんな親心溢れるとても大事な大会であることを再確認し、もっと多くの方々が参加して下さるよう部内教会長が率先していく必要があると考えまして頂いた大教会長様、役員先生方、青年さん、関係者の皆様に感謝し、御礼申し上げます。

## 四苦八苦で優勝

湯田原分教会長 高木 昭 祥

ソフトボールの選手集めには、いつも四苦八苦するチームですが、幼い子供たちも元気一杯に喜んでプレーしている、初めて挑戦するソフトボール。ルールもあまり理解できず、目も耳も手足も十分に働きそうにない60歳前後の教会長4人を含むチームは、打ったボールは何処に飛ぶか分からないまま、試合をする内に、時々頭腦的なプレーが出て、若い人がアタック・レシーブに楽しさを満喫し、生き生きとした走りや、元気な声で叫ぶ試合を繰り返すうちにチームもまとまり、相手チームのミスにも助けられながらの優勝ですが、とても嬉しいです。来年のソフトボール大会を、楽しみにしております。

## イケメンとアキレス腱

高屋Bチーム 藤本 知加子

しばらくは体も心も頭も休ませていただくう・・・なんて身勝手なことを考えていたところ、この原稿依頼のお電話をいただき、やはり寝ていても神様は御用をお与え下さったなあ・・・！と感謝しつつペンを取った次第です。今、私は足の付け根まであるギブスをしてベッドの上です。



優勝トロフィーを授与される  
神邊分教会長 小坂氏 (直2チーム)

一試合目。私達高屋Bチームの対戦相手は、直轄IIチーム。

相手メンバーには、イケメンの若いお兄さん達もいて、これは手強そう！こちらも必死で頑張るも、0対2で残念ながら涙を飲みました。

先の一試合を終えた高屋Aチームは一勝していたのですが、ここで早くも高屋Aチーム対高屋Bチームの優勝争いの夢(本気!)は、はかなくも消え去ってしまいました。

せめて一勝は！とみんな気持ちも一つに続けて望んだ二試合目。対戦相手は大教会長様率いる直轄Iチーム。私のサービスエースで一点決まり、場を盛り上げようとワーッと走り回り、それから間なしの出来事でした。

かっこ良くアタックしたわけでもなく、すごい回転レシーブをしたわけでもない。ボールを取りに後に下がった瞬間、私の左ふくらはぎを突然強く蹴られたような強い衝撃と痛みが走りました。

誰!?!と思わず振り返ったほど。それでもその時は何が何だかよくわからず、チームを応援し、一勝したことに大喜びしました。まさかこんなことになっていようとは。

念のために行った病院で明らかにアキレス腱が切れているということで、翌二十三日入院、即手術となったのです。

腱II筋? IIつなぎ? II女性? II私が私のがの性



海松ヶ岡分教会 森本重吉さん  
毎度ご無理を申して申し訳ございません m(\_ \_)m

格、高慢な私、etc。考えなくても次々と反省できるが、この間の天理時報にも載っていたように、起こってしまったことに何故? どうして? と考えても仕方がない。神様が与えて下さったこと。ありがとうございますと素直に受け入れられました。

初めてこの行事に参加しましたが、様々な年齢層の色々な方々がたくさん参加されていて、たくさんの方の裏方や支えがあり、その雰囲気はふれ、いいなあ、楽しいなあと思えました。

中学三年間と社会人になってからも少しバレー

ボールをやっていたので、当日井原の体育館でという知らせに、ヤッター、バレーボールだ! 久しぶりのバレーボール(いやいや、何十年振り?)で心も体も浮き足立っていたのでしょいか? それほど、あの日の私はとても喜ばせていただいていた。

お昼にいただいたおうどんもとてもおいしく、おかわりしたいくらいでしたが、「早くコート戻って来てくれないと、試合が始まりませんよ」との放送に泣く泣く一杯で涙をのみました。

今回、怪我をしたことはつらいことですが、それにも増して大きな喜びを親神様・教祖が与えて下さったことは間違いありません。

慣れない松葉杖と長いギブスに悪戦苦闘しつつ、来年のこの大会での勝利を夢見ている私です。でも私、ソフトボールは出来ないの、応援団として今から体力をつけておこう!

最後に今まで怪我人を出したことがないということをお聞きし、怪我をした私がいいうのも何ですが、試合前後の準備運動、整理運動、そして日頃の体力作り(しない方がいい人も...!?)はもちろんのこと、一日傷害保険の加入等、一考されてみてはいかがでしょうか?

でも何より(何かのコーマールじゃないけれど)、事前のチェックは忘れずに! まだまだ若いと思う自分の体力年齢...!?

## ENGLISH SEMINAR

English Seminar(英語講習会)って知ってますか？

笠岡大教会の英語講習会は、  
今年でなんと66回目を迎えます。

今年も外国からの講師が来ます。

パソコンも使います。

英語が好きな人も、そうでない人も

明るく楽しく英会話を勉強しよう。

LET'S ENJOY ENGLISH TOGETHER!

(一緒に英語を楽しもう)



### 【 募 集 要 項 】

- 【期 間】 8月7日(木)午前9時受付～8日(金)午後3時ごろ解散
- 【受講対象】 小学4年生以上、中学生、高校生、大学生、一般
- 【受講御供】 1500円(宿泊費、食費、受講費など、全て込み)
- 【持 参 品】 英和、和英辞典、筆記具、着替え、洗面具等
- 【プログラム】 少人数による英会話学習、パソコンによる英語学習、映画鑑賞、英語ゲーム、おつとめ、講話、ひのきしん等
- 【主 催】 天理教笠岡大教会 海外部

尚、詳細はスタッフの 上原 志 郎 Tel 0865 (66) 1311  
香取 雅 人 Tel 086 (528) 0850  
もしくは、大教会までお尋ねください。  
(御連絡下されば、当日、JR大門駅まで送迎いたします。)

### ・原・稿・募・集・

内 容

①小随筆 ②教会・布教所の独自の活動の紹介  
③俳句・和歌・川柳 ④教会行事開催後の報告記事 等々

字 数

1000字前後(800字～1200字)

題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。

俳句等は1句からでも結構です。

寄稿先

下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。

郵便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377

FAX：0865-66-1314

メール：[tenkasa@yahoo.co.jp](mailto:tenkasa@yahoo.co.jp)

尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。



(川井梅太郎先生の続き)

あらう、然しながらこうした場合があつたとしても、神の力を以て切りぬける、倍の力で進む事になれば譯はない。教會をしてこゝまでの神境靈域化せしめ、其導師たる教會長、役員が、此處まで精進したならば、實際お道は絶対安全の地である。本部が眞の安全地帯である以上、其延長たる一般教會は即ち之れ、絶体安全の地帯でなくて何であろう。かゝる絶体安全の地が本部及各一般の教會であるとすれば、此屋敷を、此地盤を、只の一坪でも廣くし、建物を大きくして、只の一人でも多く收容の出来るようにせなければならぬ、そして世界多くの人々を、眞に天理の玄妙に參ぜしめねばならぬ、猶神の働き、神の力と云ふような上に付ては、我國の歴史を緋けば、各所に其邊の事は見えてある、彼の日本武尊の東夷征伐の御事蹟、神功皇后の三韓征伐の御事蹟、更に探湯の古事など澤山にある。以上は又お地場即ち御本部並に一般教會の價値―實質を説明したのであるが、斯様に教會と云ふものは、意義の深い、尊い内容を持つたものである。處が我が笠國は、更に更に、神様の深き思召のある教會である、神様は笠國を國の柱、其責任者を地場取次人、事情の話を伝えるべき人中であると云ふ、尊いお言葉を下された、即ちあの大阪から江戸へ積出す疊表では、澤山ある大阪の表商人中、備佐が第一等と云はれた、夫れ程の豪商上原佐吉様の一代の努力を棒に振らして、神様が此備中へ引戻され、更に今尚ほ御健在の、あの火のような熱を以て、御年三十一才から八十才の今日まで、道を説いて説きまくられた、舊長様を引寄せになつて、此思召の基礎を作らせられた、一萬を

超ゆる教會の中に、數百萬を算する信仰者の中に、かゝる尊きお言葉を賜はつたものは、極めて稀である。

さあ〜たづねる處、國々の柱、だんじ柱、人間の目には一寸の事と思へど、神の方では中々大そうやで、(國の柱誌参照)

さあ〜かるく事上をさどそう、尋る事上は大そう〜、たよりまで〜、地場一つ取扱ひ、取次の事上、一寸さとしてやるがよい、もう大そう〜、(全上)

さあ〜渡そう〜事上の話つたえてくれるよふ、さづけ〜どうゆふさづけ、めづらしいさづけ、かんろうだいのさづけ〜、受取れ〜、(全上)

之を笠岡の教是と立て、其教是實現に猛進する、夫れは我笠岡に繋るものよ、當然の責務であらう、然り、然らば此教是を如何に實現するか、之を實現する方法は如何、と云ふ内容の講習會でありました。私は今回の大會が此教是實現の運動として、本春(昭和三年春)我笠岡分教會長が提唱された、教勢倍加の補助運動であると云ふ上より、繁を厭はず右講習の主要を爰に繰返して、皆様の記憶を呼び起さうとするのであります。

あの當時も申上げましたように、神意のある所を知らず、悟らずなら兎に角、知つたとしては當然之を實際化せねばなりません、此神意を發揚し、此安全地帯を眞に意義あらしむるようにする所に神様の御靈徳が加はるのであります、故に若し之を實現し得ず、之が實現の上に努力

を吝をしむものありと致いたしまするならば、夫はれは神意を無視しし、神意に背をくもの、寧せろ神意を踞躡じうりんするもの、神明しんめいの御加護かごを戴いたき得えぬのは當然そうぜんのことであります、私は之を思ふて此教是に關くわんするお話を思はひ付いたしたのであります。私は近頃ちかごろ部内ぶない各地かくちに巡教じゆんけう致しまして、驚おどろきまするのは、此教是ききうぜとか、此お指圖さしづとか云いふものに對たいする、部内ぶないの方かたの御理解りかいが、今一つ徹底てつていしてないように見受みうけますことこの一事いじであります、私は昨年さくねん講習かうしうの時ときにも申上まげましたように、此種しゆの宣傳せんてんは今後事こんごある毎ごとに其形式けいしきをかへて、幾度いくども、幾十度いくじゆも申上まげねばならぬ、ホントウの神意しんいの實際じつさい化くわが出来上できあるまでは、語かたり續つけねばならぬと、思おもふのであります。

以上教是いじやうぜの事に付ついて申上まげましたが、私は爰こゝに掲かげてあります標語ひやうごの上に付ついて、猶少なほすこし申上まげて見みたいと思おもひます。

踏切ふみきりは一寸頭あたまを右左みぎひだり

と云いふ句くがあります、私は常に子供こどもに之を教おえて、子供こどもを連つれて踏切ふみきりを越こす時ときには、此句このくを口くち吟うみつゝ、左右上下みぎひだりうへしたを見みて實際じつさいに教おえます、之を度々たびたび致いたしますれば遂ついに子供こどもも夫れおほを覺おぼえて、踏切ふみきりを越こす時ときには必かならず上下左右うへしたみぎひだりを見みて通とほるようように習慣しうかんづ付つけられます、こうした事ことによりて汽車きしやや電車でんしやの事故じこを、未然みぜんに防ふせぎ得えた例れいは澤山たくさんにあります。百ひゃくの警察けいさつよりも一つひとつの錠前じやうまへ。病やまひは口くちから先まづ健康けんこう。國本こくほんに培つちか。こんな事ことを並ならべて居いれば際限さいげんがありませんが、之等これらのようようなものを稱せうして標語ひやうごと申まします、或あるは之等これらの中なかに金言きんげんとか、諺ことわざとか申ますものがありませう、然しかし夫れ等これらの

ものでも一面から云へば標語と云ふて差支えないのが澤山あります、東郷大將が日本海の大戦で、我軍は實に悪戦苦闘、殆んど勝算がなかつた、其時に大將は、之ではならぬと「皇國の興廢は此一戦にあり」と云ふ標語を以て、大いに士氣を鼓舞し遂に全勝を得られた、之等は誠に有名な話であります、斯様な具合に簡單な言葉で、非常に意味の深長なもの、をして一つの事業の上に大變な力を付けるものは此標語であります、私は笠岡の標語として一昨年、即ち大正十五年十月十九日の會議の席上、會長から打出された「浮ぶ心」之が徹底を期し度いと思ふのであります、今回此の演題を撰みましたのは此故であります、「浮ぶ心」此標語を之を笠岡は、今後道を奉ずるものゝ示針とせう、即ち御教に殉ふものゝ總ての場合の、定木とせうと云ふのであつたのであります、「浮ぶ心」之は別に説明はいりません、浮んだ心、察する心、思ひ付く心、湧き出た心と云ふのであります、教えられたり、進められたり、云ひ付けられたりする様な事ではいけない、と云ふのであります、之れも昨年十月講習會の席上、成人の年限に應じて神様のお言葉が違ふ、十年祭の時のお言葉、二十年祭の時のお思召、三十年祭の時の神様の思はく、四十年祭の上に付ての模様等より押して、五十年祭は方に浮ぶ心、察する心、思ひ付く心、氣付く心、湧き出る心、之で行かねばならぬ、夫れも四十歳ではない五十歳にまでも成人して居るとすれば一人や二人ではない、夫婦、親子、孫等少くとも五人や八人は打揃ふて、結束した大きい力で行かねばならぬと云ふ、意味の話をして置きましたし、更に一昨年(大正

## 七月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様には一列我が子の陽気ぐらしを楽しみに 一人ひとりの身体をお貸し下さるだけでなく 親心を十分にお掛け下され 火水風の天然自然の働きを通して陽気ぐらしが出来るようにと御守護下さっております事は誠に有難く勿体ない極みでございます

私共は常に親心と御守護又成人へのお導きに喜び感謝の心一杯で生活させて頂いておりますが 世の多くの人々はその理を知らず 満ち足りた中にあるにも関わらず 常に物足りなさを感じ苦しみに喘いでおりますことは誠に申し訳なく 一人でも多くの人々に親心と御守護の有難さを知って頂くべく 日々は朝夕に御礼申し上げつつ御恩報じの心のまにまにをいかけ・おたすけを通して

たすけ一条の御用の上に勤め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日はお許し戴いた七月の御祭日でございますので 只今からおつとめ奉仕者一同 喜び心も一入に明るく陽気に勇んで 坐りづとめてをどりをつとめさせて頂きます 御前には暑さ厳しき中も厭わず 今日の日を楽しみに寄り集いました理に繋がる道の子供が



相共に声高らかにお歌を唱和し 言改めて御礼申し上げる状を御覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて子供達は夏休みに入り昼間でも子供達のにぎやかな声がおります そして今年も子供おぢば帰りが目前に迫ってまいりました となわすかでも親心に触れて貰いたいと募集の上余念はございました どうぞ今年も大きな事故怪我もなく 子供達の笑顔一杯のおぢばの姿をお見せ頂きますようお願い申し上げます 又引き続き英語講習会、学生生徒修養会、野外キャンプと子供達には嬉しい行事が開催されますが 只これらに参加を促すだけでなく 八月を道の後継者育成強調の月と位置づけて もうすでに大きくなってしまった子供も含めて 信仰の元一日の事や 親としての信仰の喜びを伝えていく所存でございます

何卒親神様には旬々の理を生かし只ひたすらに成人の道を歩む皆の真実誠の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上に尚も自由の御守護を賜り 親の背を見て育つ子供達が確実によふぼくとなり共にたすけ一条の歩みを進めてくれる子に育つようお連れ通りの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

成人の歩みを進めて行く覚悟でございます

こころの詩

▼養徳社発行『陽気』誌七月号、「道柳」より転載

▽今回の課題は「和」、選六十五句中、笠岡に繋がる教友の方二名、二句が見事選ばれ掲載されましたので転載させて頂きます。おめでとうございます。

準秀詠 川島郷分教会前会長 香取 敏子

和氣藹藹氣持ちつなげる月次祭

佳詠 東悠分教会前会長夫人 田林 美智子

つとめ終え和む直会祭典日

▼表紙の版画 東城分教会長 横山 逸郎氏

大教会だより

計報

◎教会长資格検定講習会修了者

前期 立教171年7月14日終講

芦 常 原 純子

豊田道人氏

大教会准承事

府中市分教会長

七月八日出直されました。  
享年 九十才

清廉潔白を目指したが……。



最近政治家の間でタバコを千円にするとか、五百円にするとか揉めているようだ。私は二十年前に禁煙したので、関係ないが愛煙家は戦々恐々大変やね。タバコを止めたらと言うと「ストレスがたまる」と答えるが、今では歩きタバコ禁止や禁煙場所が増えて吸う人は返ってストレスを溜めているのではないのかな。自身タバコを止めてから次々に色んなものを止めた時期がある。喫茶店行き、お茶断ち、晩酌の中止等やね。道の信仰をしているのだから、清廉潔白になりたいと思った時期……。晩酌の中止は辛かったなあ。一日の一番

の楽しみやったから。でも固い決意はあっけなく崩壊する。それは、今までビールを飲みながら女房や子供にギャグを飛ばし夕食の時間を楽しんでいた。なかなか笑ってくれない「親父ギャグ」やったけどね。そんな日が続いていたある夜、みんなに言われる。「お父さん、今まで通り飲んだらいいやんか。ムツツとして食べとるの見たらちっとも楽しくない」とこいう。それで、渋い顔をしながら「笑いたいところをグツとこらえる——」そうか、そんならやっぱり飲もうか？」と答える。「清廉潔白」の決意は一言の言葉であっけなく終わった。今は喫茶店もお茶も始まってしまった。心は、癖性分は改めるのがほんまに難しい。「楽しくない」というなら、もしかしてギャグも受けていたのかな？ といいように思う。あれから晩酌は永久に続いている。  
(ひ)